

文化財ニュース

ながのはらのたからもの

Vol.1

2025.7.7発行
長野原町教育委員会
教育課文化財係
TEL0279-82-4517

ごあいさつ

文化財とは、長い歴史の中で先人たちによって守り伝えられてきた地域の財産です。町ではそうした文化財＝「町のたからもの」を適切に次の世代に守り伝え、ふるさとへの誇りに育てるため、「文化財保存活用地域計画」を作成しています。これからの計画の進み具合と町の文化財の今を伝えていくため、「文化財ニュース ながのはらのたからもの」を発行します。

Vol.1では、4カ年計画2年目の令和6年度に開催した地域住民参加型のイベントについて、その結果をお知らせします。

ワークショップ

名称：残したい“長野原町のたからもの”
日時：令和6年9月4日（水）13:30～15:00
参加者：高齢者教室8名＋一般公募7名
職業体験の中学生1名 計16名

グループワークを通して“町のたからもの”を見つけ、守り伝えるためのアイデアを語り合いました。その結果、89件の「たからもの」とそれを守り伝えるためのアイデアが集まりました。



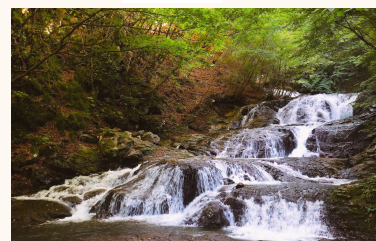
ワークショップ

ようせんじんじやたいたいおかぐら
養蚕神社太々御神楽（与喜屋）



伝え、育てる計画を作っています

町の歴史・文化・自然を守り、



魚止めの滝（北軽井沢）

住民アンケート

名称：“町のたからもの”に関するアンケート
期間：令和6年10月～
回答方法：区長に依頼、人選を委任
回答者数：7区8名

長くお住まいの住民や地区の歴史文化に詳しい方から、次の世代に残したい「たからもの」と守り伝えるためのアイデア、町への要望・連携について意見が集まりました。令和7年7月現在の集計で141件の「たからもの」が集まっています。

ご協力いただいた皆様
ありがとうございました



湯かけ祭り（川原湯）

今回集まった“町のたからもの”の詳細は町公式HPで発信中！



文化財ポスター

名称：残したい長野原の“たからもの”

期間：令和6年8月の1か月間

応募数：町内小学生29名

小中学生の夏休み期間中に合わせてポスターの募集し、町内の小学生から応募作品が集まりました。子どもたちはこれからの町に残したいと感じる色々な「たからもの」を描きました。

作品は9月4日のワークショップ、10月3日まで@長野原交流スペース、11月3日の町文化祭会場にて展示しました。



文化祭での展示

文化財保存活用地域計画協議会会長と町の教育長からそれぞれ1点ずつ選定いただき、入賞者に賞状と賞品を授与しました。また、参加者全員に参加賞を送りました。

入賞



会長賞「わたしの好きな風景」
(浅間小5年生)



教育長賞「なつかしい北軽小学校」
(浅間小3年生)

※学年は令和6年度当時

PICK UP

あざかりやど 応桑字狩宿にある町指定史跡「朝比奈三郎義秀の墓」で、五輪塔を囲う柵が痛んでいたので修繕を実施しました。鎌倉時代の伝説が伝わるお墓です。ぜひご見学ください♪



町のたからもの 紹介コーナー

町指定重要文化財

ぼうくうかんししやうあと ちやうおんどう 防空監視哨跡（聴音壕）

大津区にある防空監視哨跡は、アジア太平洋戦争中に国内を飛行するアメリカ軍機を監視することを目的に建造されました。

昭和16年（1941）に防空監視隊令が公布され、群馬県では防空計画策定後、防空監視哨が約40カ所に設置されました。大津区のものはそのうちの1つです。24時間体制で監視にあたり、渋川監視隊本部へ伝える任務がありました。尋常高等小学校を卒業した10代の青年たちが務めていました。

8月15日で戦後80年を迎えます。県内で残る同型の防空監視哨は、みどり市と本町にある2カ所のみであり、稀少な戦争遺産となっています。



5月、草刈りをしました。

ここに注目！

レンガ積みの二重構造で縁がラッパ型になっていて音を集めやすい構造になっています。中で敵機を聞き分けていました。



JR群馬大津駅から徒歩15分